

一貫コース 推奨コース

救急科

救急医を目指す初期臨床研修医のためのプログラムです。

当科における後期臨床研修医のプログラムには、内科系(北米型)救急医プログラムと外科系救急医プログラムがあり、後期臨床研修医プログラムとの整合性を考慮して、北米型救急医と外科系救急医の2種類の初期臨床研修医プログラムを提示します。将来救急医として多様な患者に対応するために、幅広い他科研修を行うことによって基礎的診療スキルを広げます。

精神科(1か月間)、麻酔科(2か月間)、整形外科(2か月間)、放射線診断科(1か月間)を北米型・外科系プログラムの両方に必須の他科研修とします。

救急科での研修期間を救急科専門医の申請に充てることのできるため、最短で卒後6年目の救急科専門医の申請が可能です。

北米型救急医プログラム

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地域	精神	麻酔	整形	放射線診断科	救急科・内科・放射線治療科から選択						

北米型救急医の育成のために、救急外来でのマネジメントやICUでの集中治療の研修期間を5か月間とします。

希望があれば、内科での研修や、都内近郊の救命救急センターでの研修、放射線科での画像診断・IVR(interventional radiology)の研修等を含めることも可能です。

外科系救急医プログラム

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地域	精神	麻酔	整形	放射線診断科	一般消化器外科・脳外科・心臓外科・小児外科から選択						

外科系救急医の育成のために、手術手技や外科的集中治療を習得する研修期間を5か月とします。希望に応じて、一般消化器外科、脳外科、心臓外科、小児外科を選択することが可能です。期間内に画像診断・IVRの研修を含めることも可能です。